

平成30年度第1回大船渡市総合教育会議

これからの地域づくりに向けた 地区と行政の体制強化について

大船渡市

目次

1 大震災からの復興状況

2 まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

～地域を持続させていくために～

3 これからの地域づくり

～各地区を単位として～

1 大震災からの復興状況

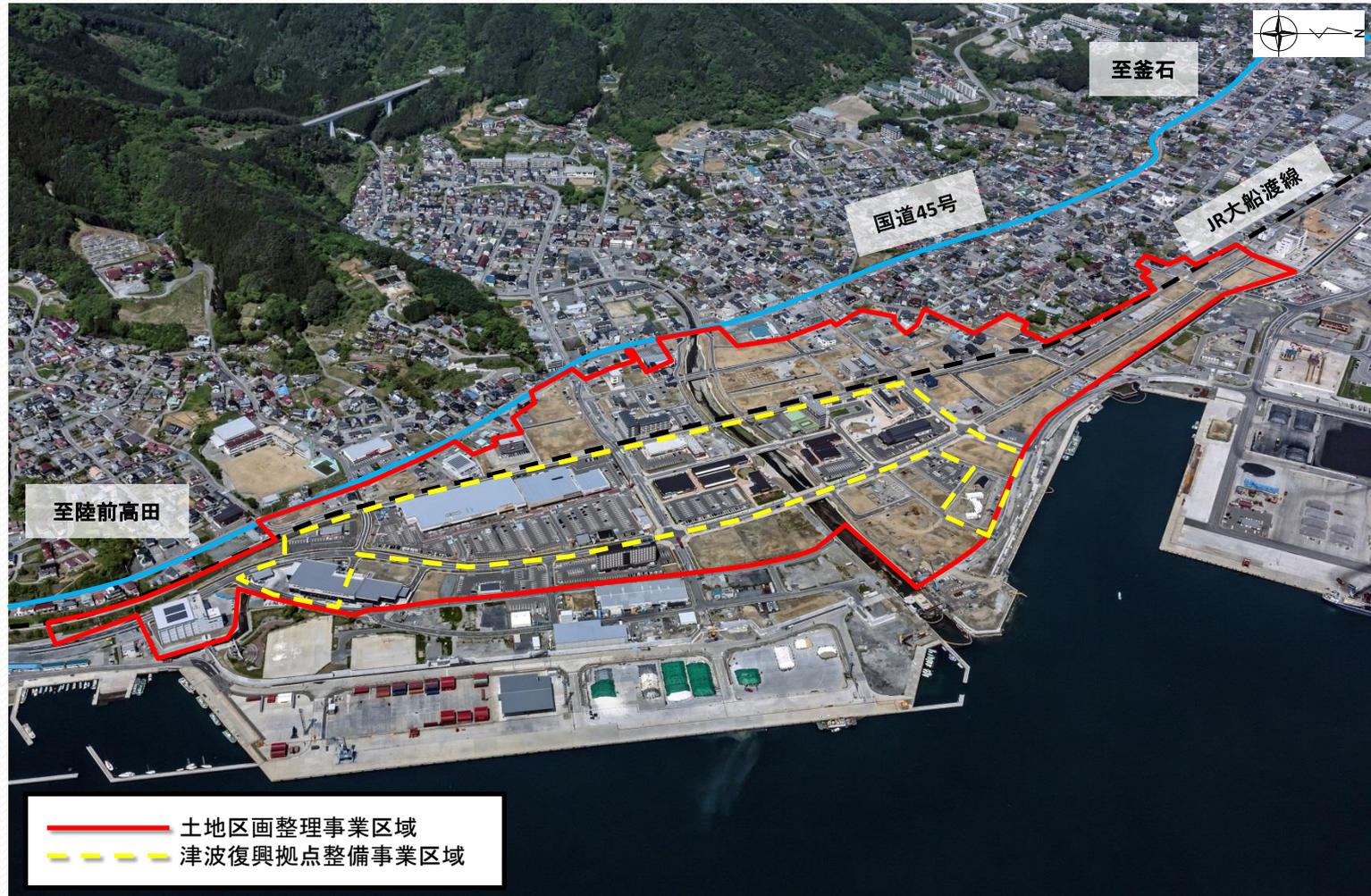
大震災から、7年

どう復旧・復興してきたか、今後の課題

- 1年目：救急応急＋復興計画策定
 - ・生活の落ち着き
- 2年目：応急＋復興型工事計画予算申請
 - ・店舗被災企業の80%以上が事業再開（現在、90数%）
 - ・魚市場への水揚げ高が震災直前まで回復
- 3・4年目：復興型工事が多数着工
- 約260の事業：約8割強が完了・又は目的を達成、
現在約2割弱を実施中
- 今後の課題
 - ・市中心部のまちづくり
 - ・市中心部以外の利活用
 - ・震災前よりも高いところに軟着陸すること

市中心部のまちづくり

土地区画整理＋津波復興拠点整備



被災跡地利用の取組

地域と市が協働で検討

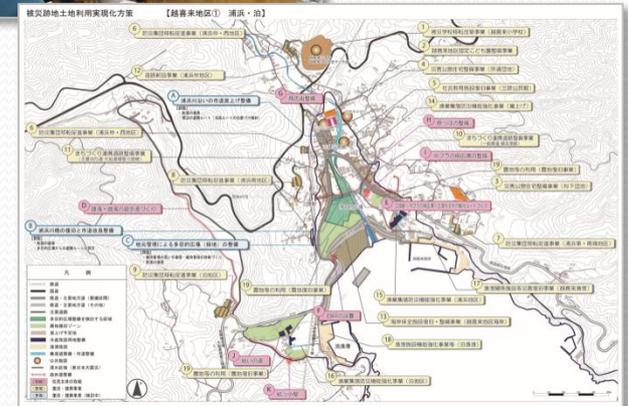
⇒ 土地利用計画を策定し、被災跡地利用の具現化を図る



住民懇談会

土地利用計画の策定

地域住民の
ワークショップ



各地区の利活用状況

(利活用に向けた事業が終了した地域)

- 吉浜 : 農用地災害復旧関連区画整理事業が完了

(まちづくりの方向性が決定、あるいは見えてきている地域)

- 地ノ森 : 内水排水対策事業（道路や水路、橋梁の改修）に取組中
- 下船渡 : 内水排水対策事業（水路の改修）に取組中 ⇒ 民間の土地利用を促進
- 細浦 : 広場整備に取組中、集約土地利用者募集中
- 小河原 : 産業用地を整備完了（大規模なトマト栽培施設を誘致）
- 泊里・碁石 : 碁石海岸の観光振興につなげる駐車場を整備中
- 赤崎 : 赤崎グラウンド整備完了、野球場整備検討中
- 綾里 : 水産用地を整備中、広場整備に取組中、集約土地利用者募集中
- 甫嶺 : 道路整備に取組中
- 浦浜・泊 : 宅地嵩上げ完了、水産用地・広場整備完了、集約土地利用者募集中
- 崎浜 : 水産用地・漁業集落道を整備中

2 まち・ひと・しごとと創生総合戦略の推進

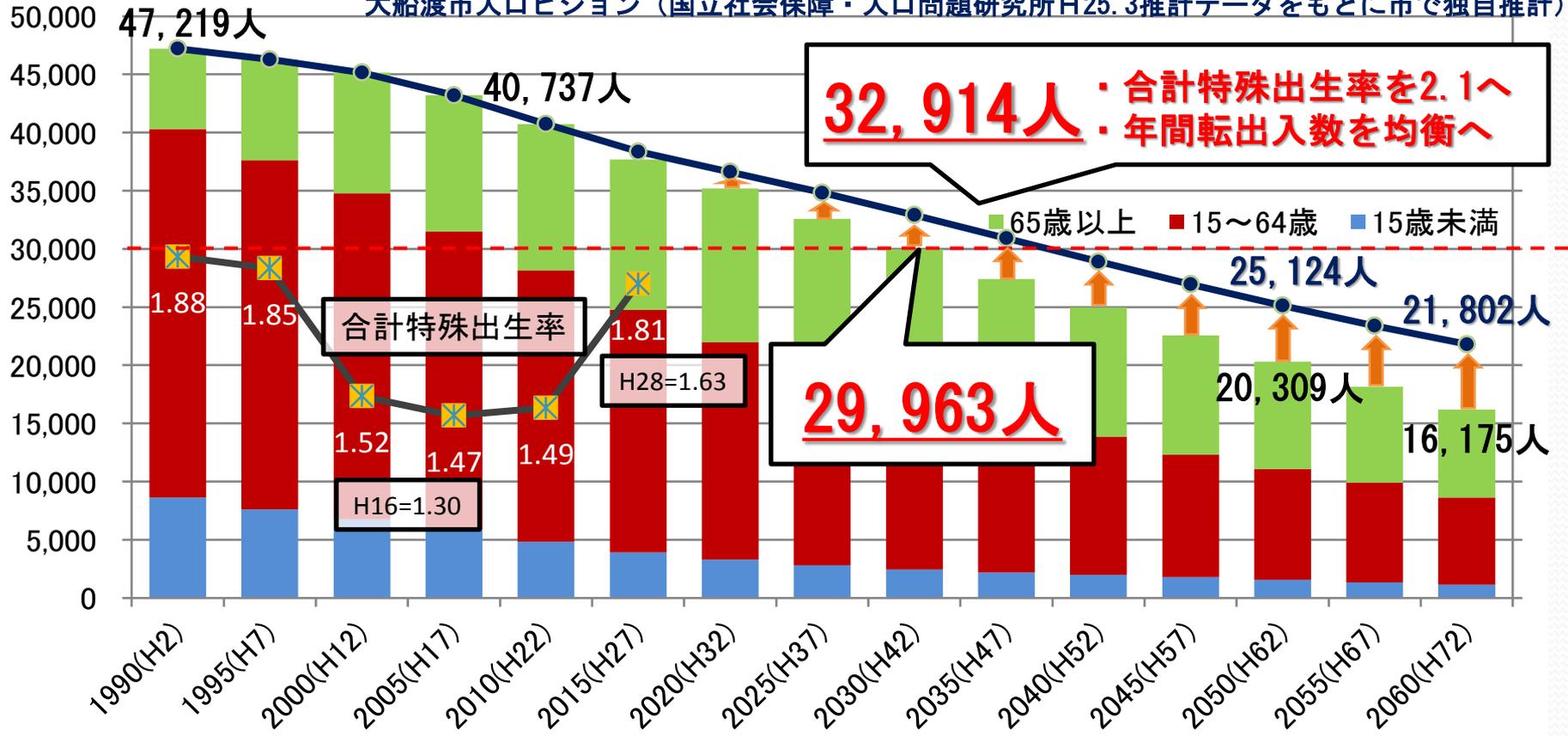
～地域を持続させていくために～

大船渡市の人口の見通し

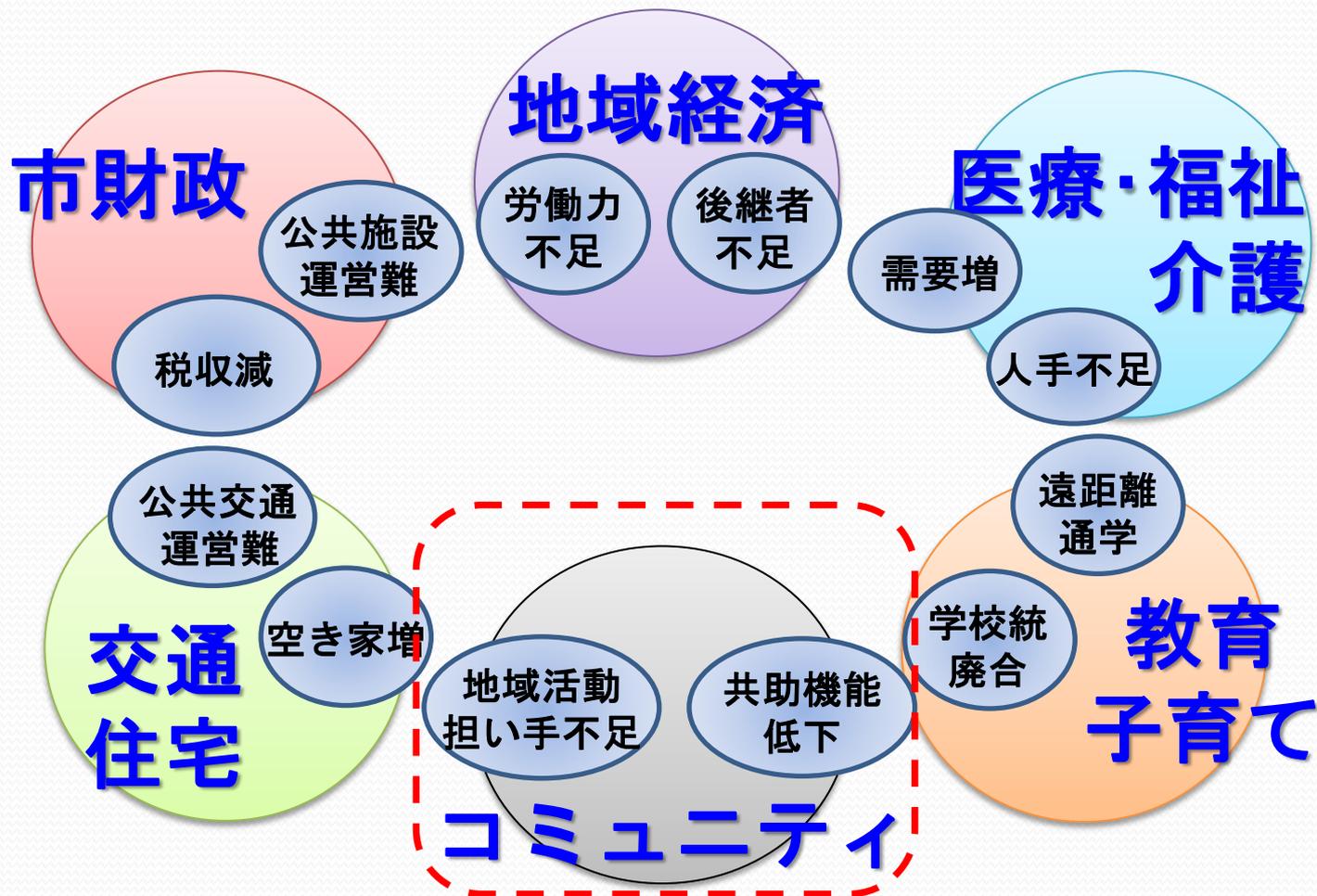
総人口は減少を続けている。
2030年には高齢者を支える状況が

騎馬戦  ⇒ 肩車  のようになる。

大船渡市人口ビジョン（国立社会保障・人口問題研究所H25.3推計データをもとに市で独自推計）



人口減少が地域の将来に与える影響



地域を持続させていくために、
人口減少に歯止めをかける必要がある。

まちを元気にする4つの目標

大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

①大船渡にしごとをつくり、安心して働けるようにする

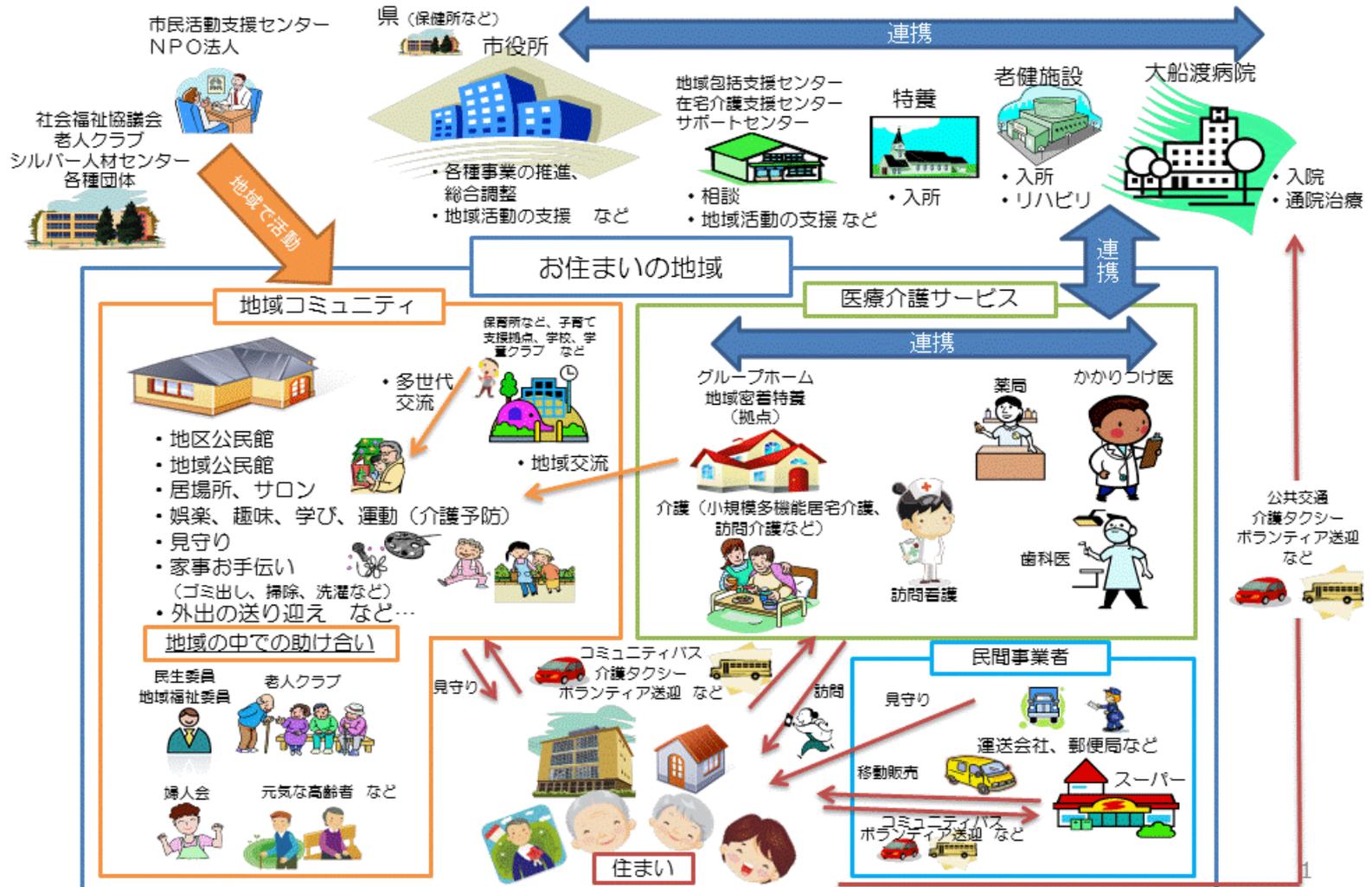
②大船渡への新しい人の流れをつくる

③大船渡で安心して家庭を築き、子供を産み育てられるようにする

④大船渡で生涯暮らし続けられる地域をつくる

④大船渡で生涯暮らし続けられる地域をつくる

○ 地域包括ケアシステムを核としたまちづくり



(注) これはイメージ図であり、これ以外にも様々な主体が関わって地域包括ケアシステムを構築する必要があります。

3 これからの地域づくり ～各地区を単位として～

いま なぜ地域づくりなのか

少子高齢化・人口減少の進行によって

- ・地域の人口が減少
- ・行政の職員数や財政規模も縮小
- ・従来からの課題である地域の担い手の不足や高齢化が加速

地域コミュニティの維持が
課題に

これまでと同水準の
住民サービスの維持が
課題に

震災によって

- ・地域のコミュニティが変化

生涯暮らし続けられるまちであるために
今こそ 地域づくりが大切

市では、地区を単位として、
公民館役員や市民の皆さんと話し合いを重ね、
ともにより良い地域をつくるため、
取組を進めていきます

検討する事務局として、平成30年4月、市役所に市民協働準備室を設置

このような取組を検討しています

- ① 地区(市民)と行政の「協働」をさらに推進

そのためにふたつのこと

- ② 地区の体制を強化

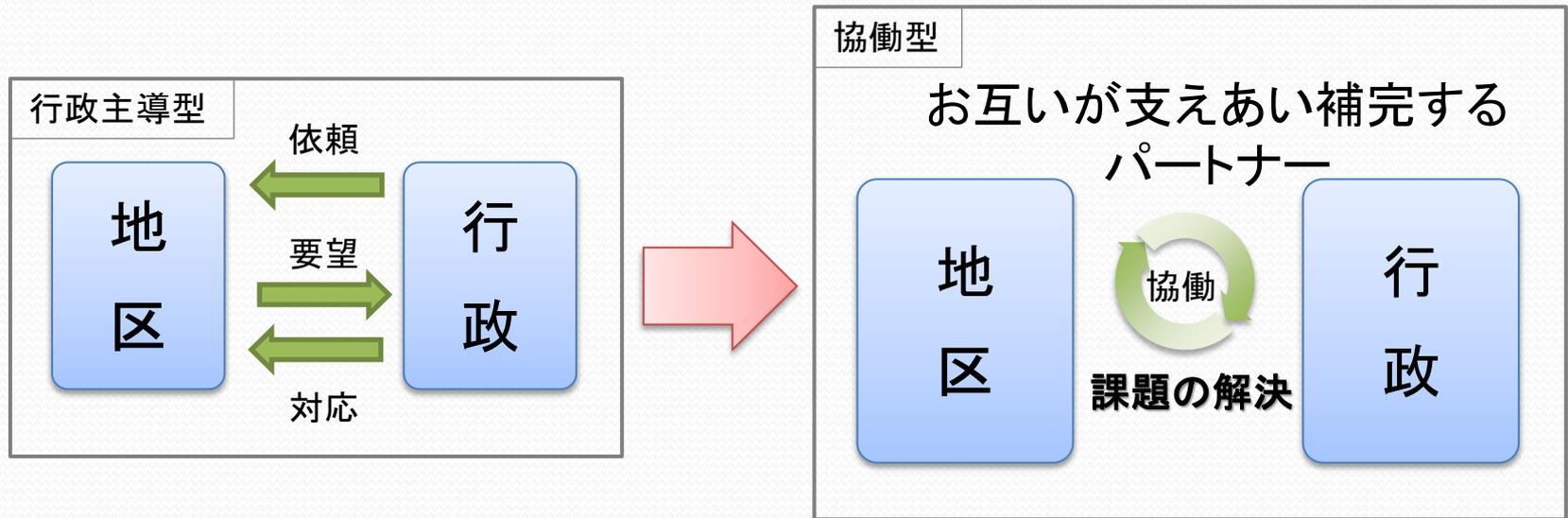
⇒地区を単位とする「地域運営組織」の育成

- ③ 協働のパートナーとして 市の体制を強化

⇒地区への窓口を一本化

地区公民館施設のあり方を検討 など

①地区と行政の「協働」を推進



東日本大震災後、地区を単位として、復興委員会や公民館、助け合い協議会など、市民と市が、ともに「協働」し、新たなまちづくりを行ってきました

これまで育んできた「**地区と市の協働**」の関係をさらに確かなものにしていきます

協働とは



ともにまちづくりのパートナーとして協力・行動

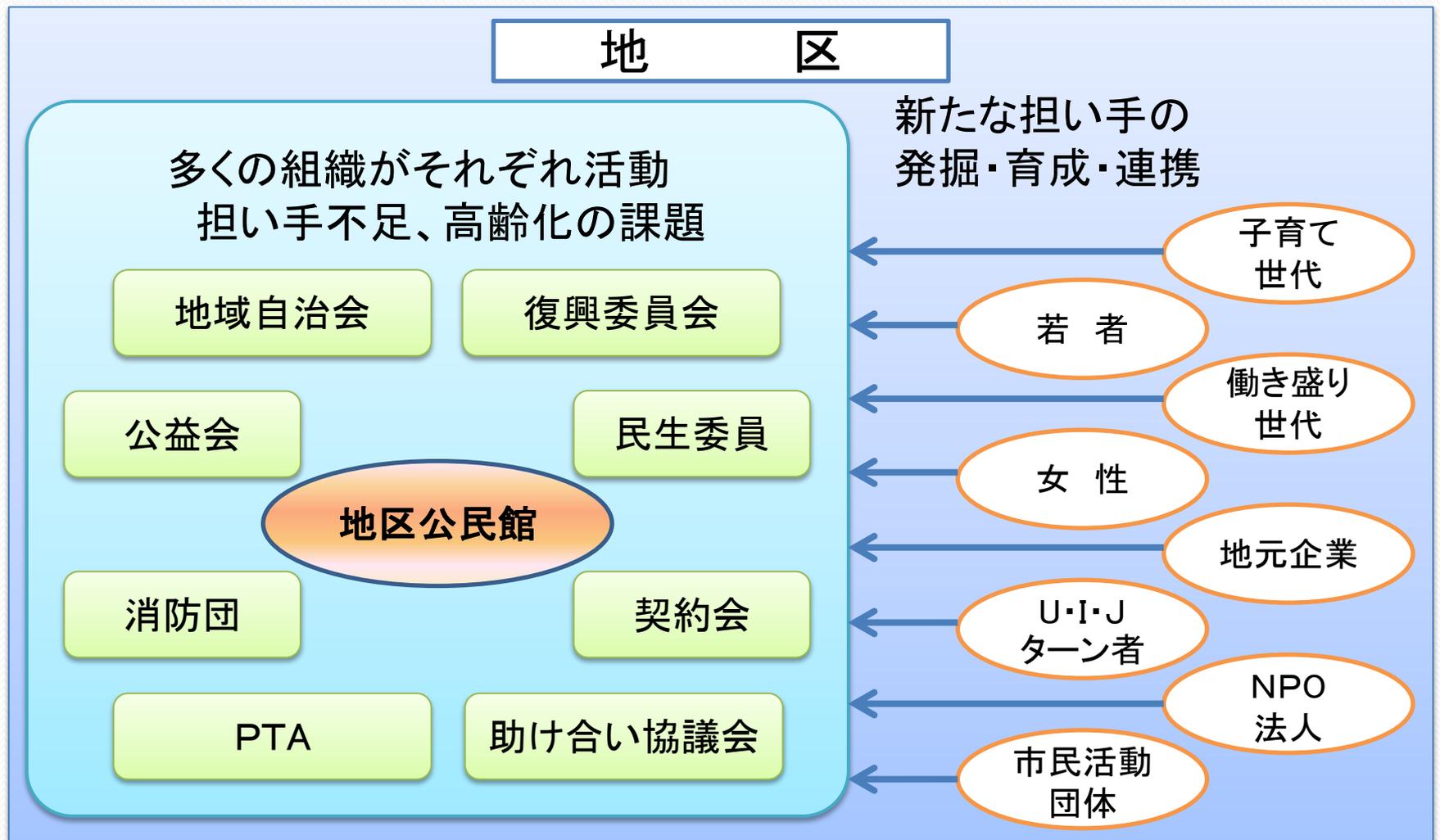
協働のかたち				
地区主体	地区主導	対 等	市主導	市主体
地区が自主的に行う活動	地区が主導となり、市の協力が必要となる活動	地区と市が補完し、協力しあう活動	市が主導し、地区の協力を得て行う活動	市が責任を持って行う活動
例) 住民の交流事業など	例) 補助金を活用して行う地域づくり事業など	例) 地区と市が共催するイベントなど	例) 公園管理の委託や、公共施設の指定管理など	例) 法令に基づく社会保障や、水道水の供給など

←
→

地区の領域 ← 市の領域

住民サービスとコミュニティの維持・確保

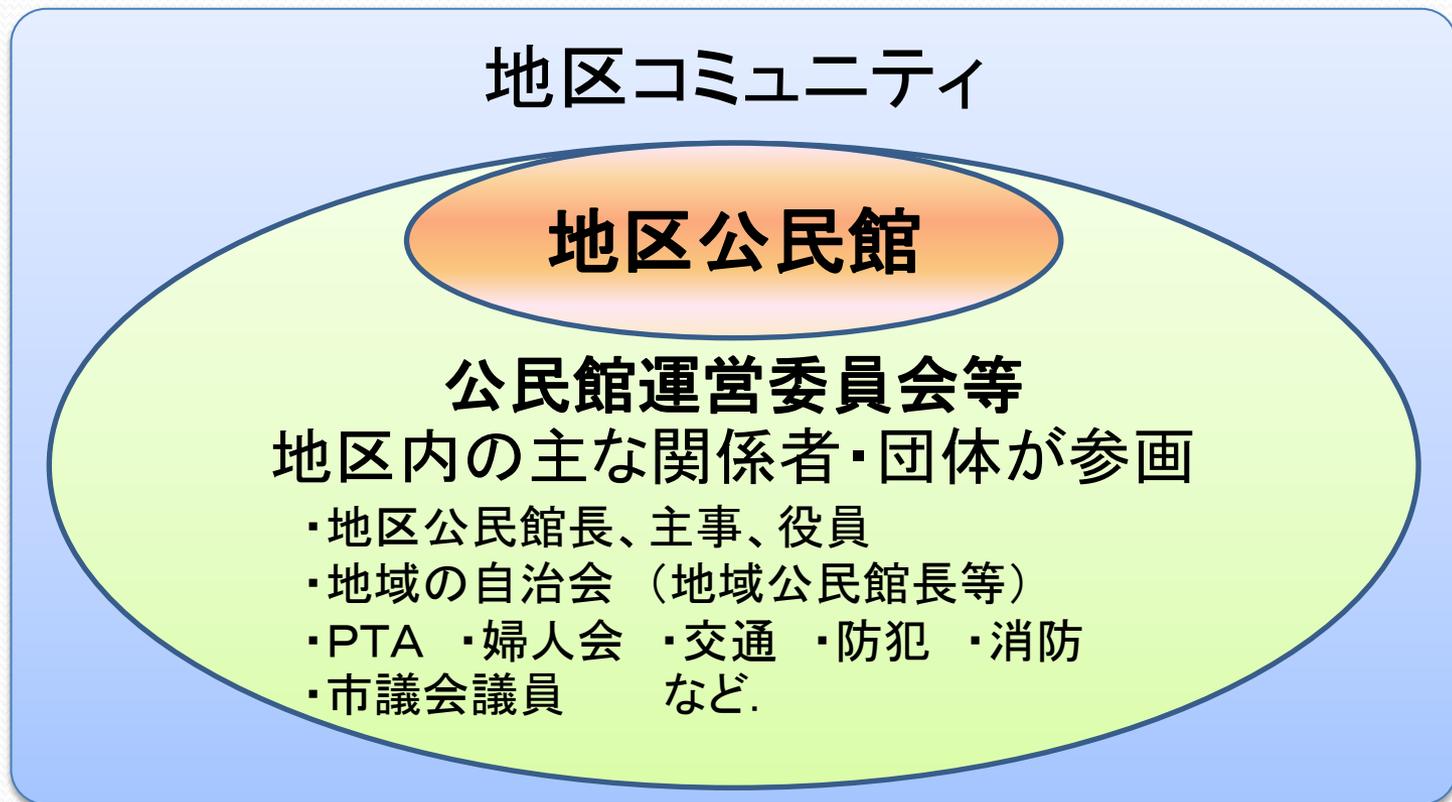
② 地区の体制を強化



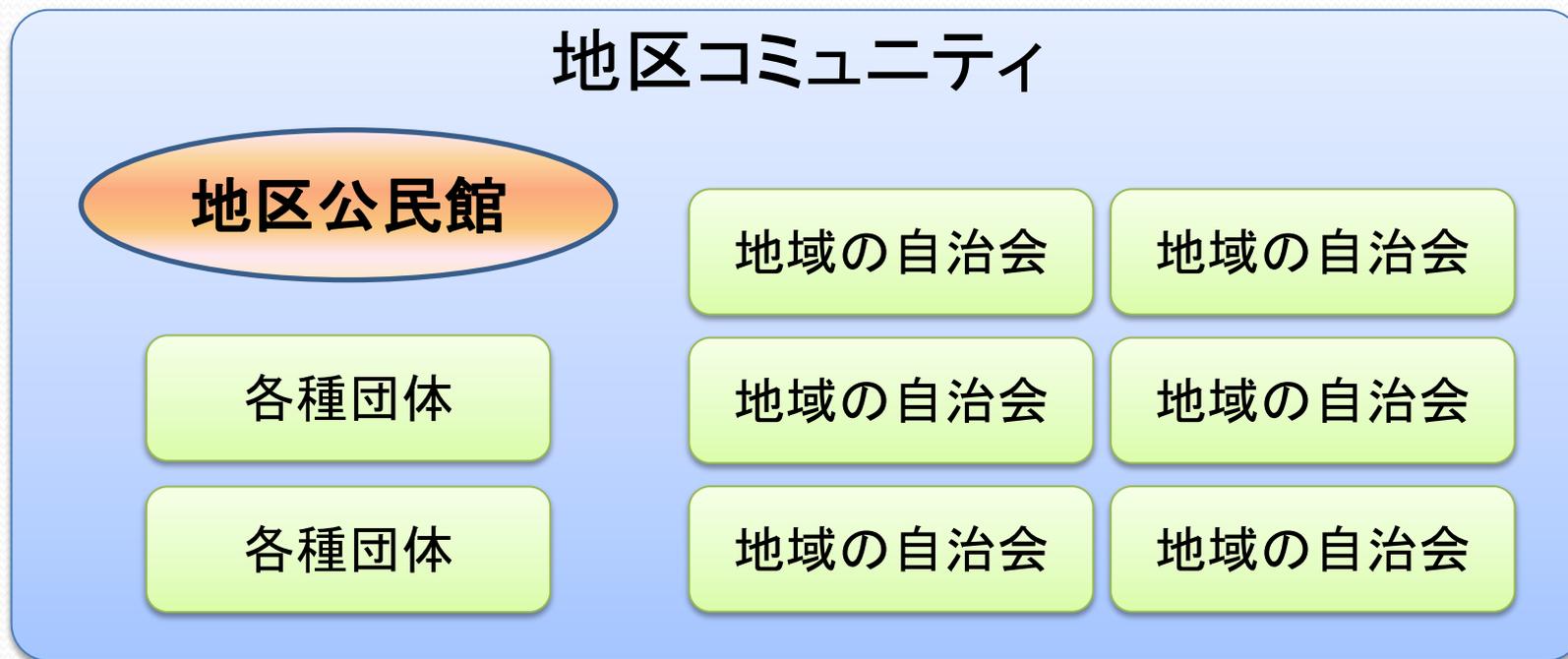
多様な担い手を取り込んだ**地域運営組織**の形成

市内の地区組織

ある地区では
地区公民館（公民館運営委員会等）が
地区のコミュニティを統括



ある地区では
主に地域自治会が、地区のコミュニティ活動を展開。
地区公民館はその一部



このほかにも、地区によってさまざまな形がある

地区公民館とまちづくり

地区公民館とは・・・もとは社会教育・生涯学習機能



旧大船渡市地区

従来から、各地区が地区公民館の管理運営と生涯学習事業を実施

旧三陸町地区

中央公民館を中心に各地区公民館で生涯学習事業を実施



地区公民館が地域自治組織でもある「地域公民館」のまとめ役

地域自治組織(部落会等)の中に「地域公民館」を設置



地域の自治組織の連合体として、地区公民館がまちづくりの役割も

合併後、各地区が地区公民館の管理運営と生涯学習事業を実施



東日本大震災の発生
人口減少社会の進行

地区におけるまちづくりの機能が増加

地域運営組織とは

将来にわたって暮らし続けられるように
一定の区域の住民が主体となって
地域課題の解決に向けた取組を行う組織

ポイントは

- 若者、UIJターン者など新たな担い手の発掘・育成・取込み
- 住民の自発的なコミュニティ参画意識の醸成
- 地区内関係者・団体、NPO法人などとの連携

地区の課題を解決

先進地では、地区の生活サービスの維持や、
地区における仕事や収入の確保に向けた取組も



※出典: パンフレット「住み慣れた地域で暮らし続けるために」 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 発行

地区の魅力や将来像を共有

地区(地域運営組織)

地区の将来像(地区計画)

- ・地区の誇りや魅力
- ・魅力を磨きたい
- ・将来はこうなりたい
- ・解決したい課題 など

ワークショップ
などを通じ
多くの住民が参画



行政

- ・自由度の高い
補助金交付
- ・有識者の派遣等

サポート



地区の望む姿を自ら実現・課題の解決



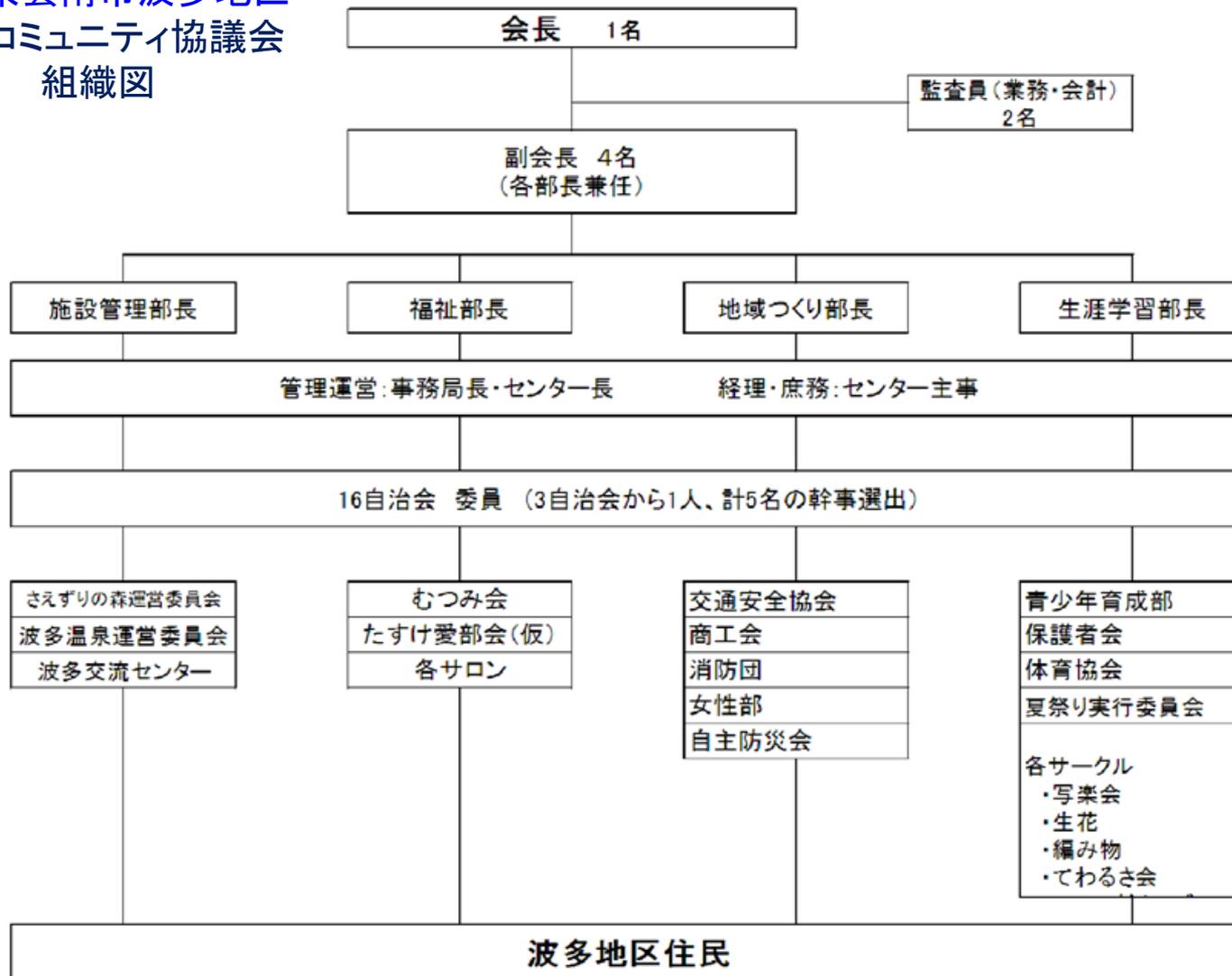
地域運営組織の活動事例

うんなん はた
島根県雲南市波多地区（波多コミュニティ協議会）



- 地区内唯一の商店の閉店を受け、地区交流センター内に平成26年10月、小さなマーケットを開設。財源は、ふるさと島根定住財団の助成金、地区住民の負担金、金融機関からの融資。
- 店内にはサロンスペースも作り、買い物客がお茶を飲みながら交流可能に。
- 車を持たない方などは、コミュニティ所有の地区内だけを運行する「たすけ愛号」で無料送迎。買い物をした方には無料配達も。

うんなん はた
島根県雲南市波多地区
波多コミュニティ協議会
組織図



役員(8名)
 会長
 副会長(部長)
 事務局長
 センター長・主事

幹事会 (15名)
 役員 8名
 自治会代表 5名
 女性代表 2名

- 自治会、各種団体などで構成。地域づくりビジョンを作り、「防災」「買い物」「交通」「産業」「交流」の5分野を重点として、みんなで・前向きに・無理をせず・楽しんで活動。

各地区に応じた地域運営組織を

地区の組織のあり方は、それぞれ多様

当市では 地区公民館運営委員会
復興委員会
地区版の助け合い協議会 など



組織の形態や取組は、
地区の状況に応じ色々な形があり得る

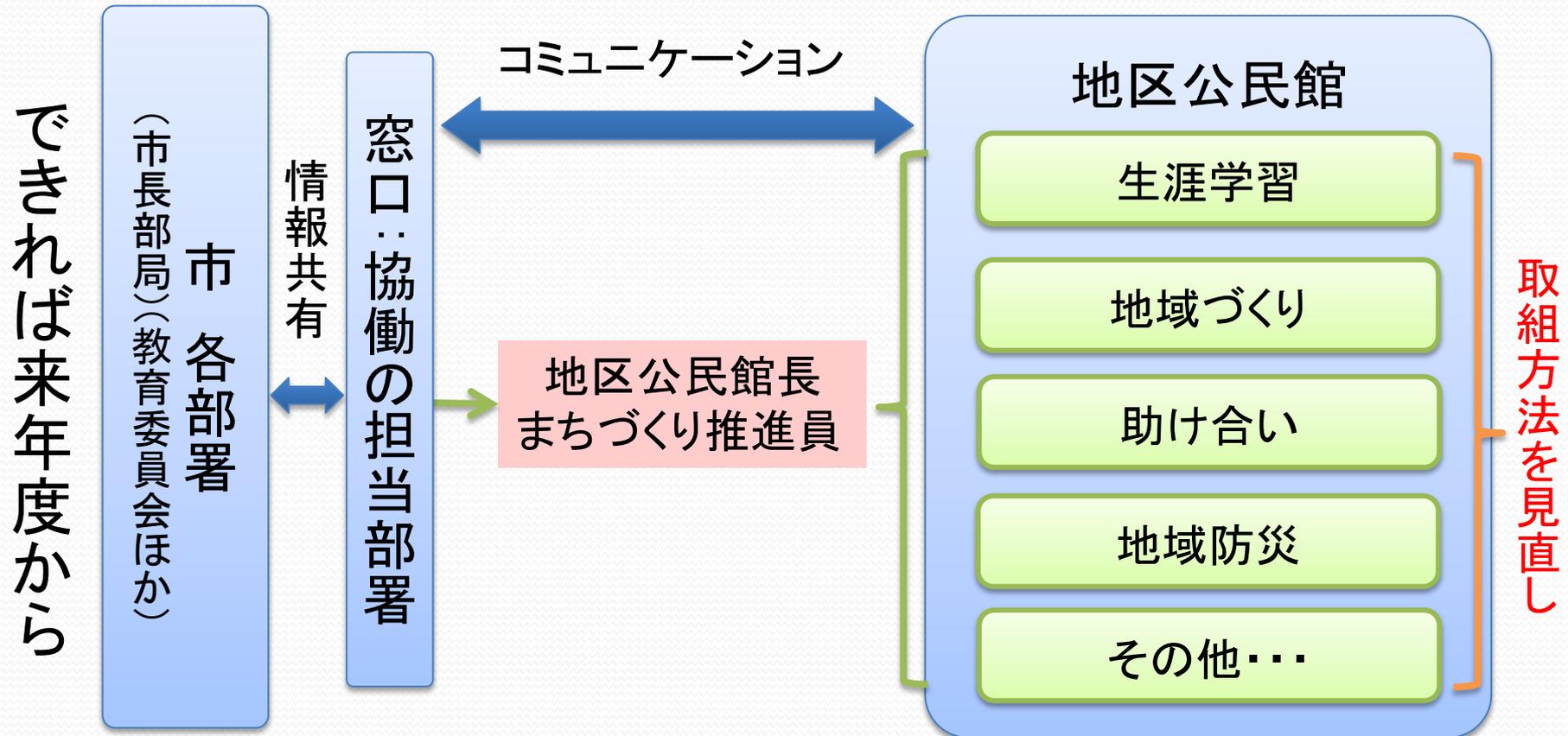
一から組織を作り上げるのではなく、
既存の組織を活用してもよい



市では地域運営組織の形成を支援
可能な地区から順次取組を具体化



③ 協働のパートナーとして 市の体制を強化



生涯学習に関する事務を市長部局に移管し、窓口を一本化

地区公民館（施設）のあり方を検討

地域運営組織が活動を始めると、生涯学習を目的とする
地区公民館の施設名称や位置づけの再整理が必要に

他の自治体では地区公民館が変化

「地区公民館」の名称を変更して、地域運営組織が管理運営

□地区公民館を廃止し、新たな施設へ衣替え

北上市：交流センター

奥州市：地区センター

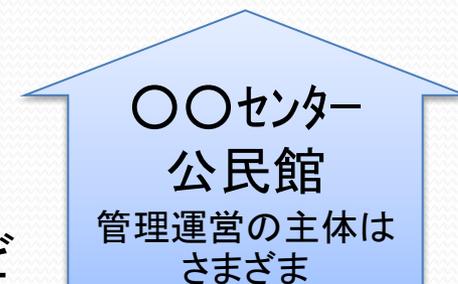
一関市：市民センター など



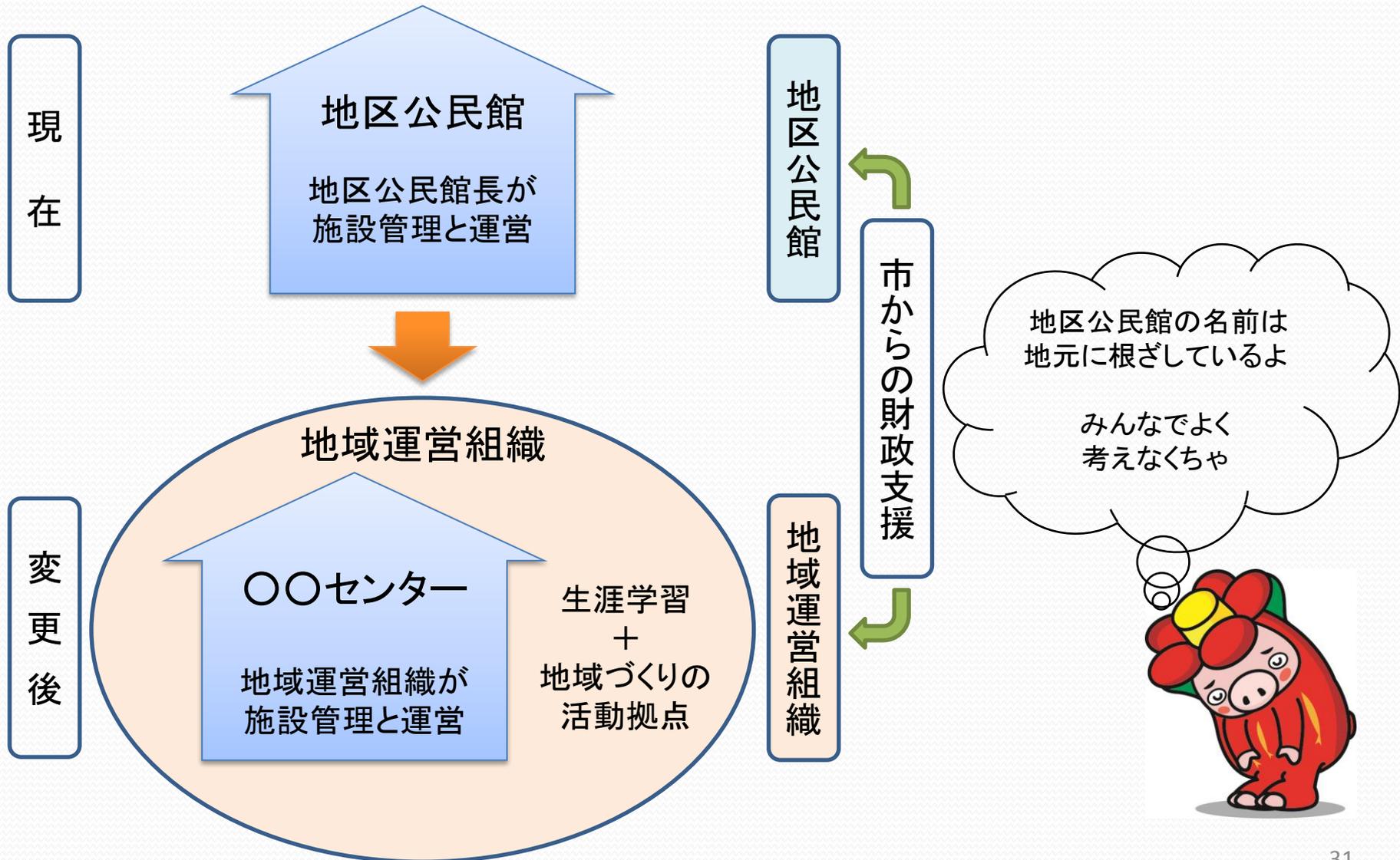
□名称は変更しながら、地区公民館も併設

釜石市：生活応援センター・地区公民館

陸前高田市：コミュニティセンター・地区公民館 など



地域運営組織による管理運営



当市には
地元にも根ざした歴史ある地区の活動があります

これらを大切にしながら
地区の皆さんと市で、また、地区の皆さんで
ともに考え、将来に向けて地区を守り
発展させていきましょう。

皆様のご意見をお聞かせください。